

# 出 会 い の 森

## かけがえのない存在として

校長 廣瀬 尚美

子どもたちの元気な声があちらこちらに響き、充実した毎日を送っています。子どもたちには、自分自身を「かけがえのない存在」として大切にできるようになってほしいと考えています。自分をかけがえのない存在であると感じるためには、自尊感情を育むことがよいと言われています。自尊感情には基本的自尊感情と社会的自尊感情があり、学校生活の活動では、社会的自尊感情を育むことにつながります。学校での活動とは、次のようなことです。

行事（運動会、修学旅行、校外学習、リレー記録会など）  
委員会活動・クラブ活動・学級での係活動などの特別活動  
体験を伴う活動（カヤック体験、田植え体験、やまのこ、70-ティンガ スクール、まち探検など）

社会的自尊感情は、がんばりをほめられたり、努力して達成感を得たりするなど周囲から認められることで膨らみます。5月16日(木)に行ったりレー記録会で子どもたちは、「勝ちたい」思いを強く持って練習をがんばってきました。しかし、競技なので勝ちがあれば負けがあります。負けたときに、「みんなががんばったから、タイムを縮めることができた。」「あきらめずに精一杯走っていた」「転んでもがんばっていたのがすごい」など互いのがんばりを認め合う姿が子どもたちに見られたことが行事で得ることのできる価値だと思います。「自分が受け入れられている」「がんばりが認められた」と感じた子どもたちは、これからも自分らしさを発揮してそれぞれの輝きを見せてくれると思います。



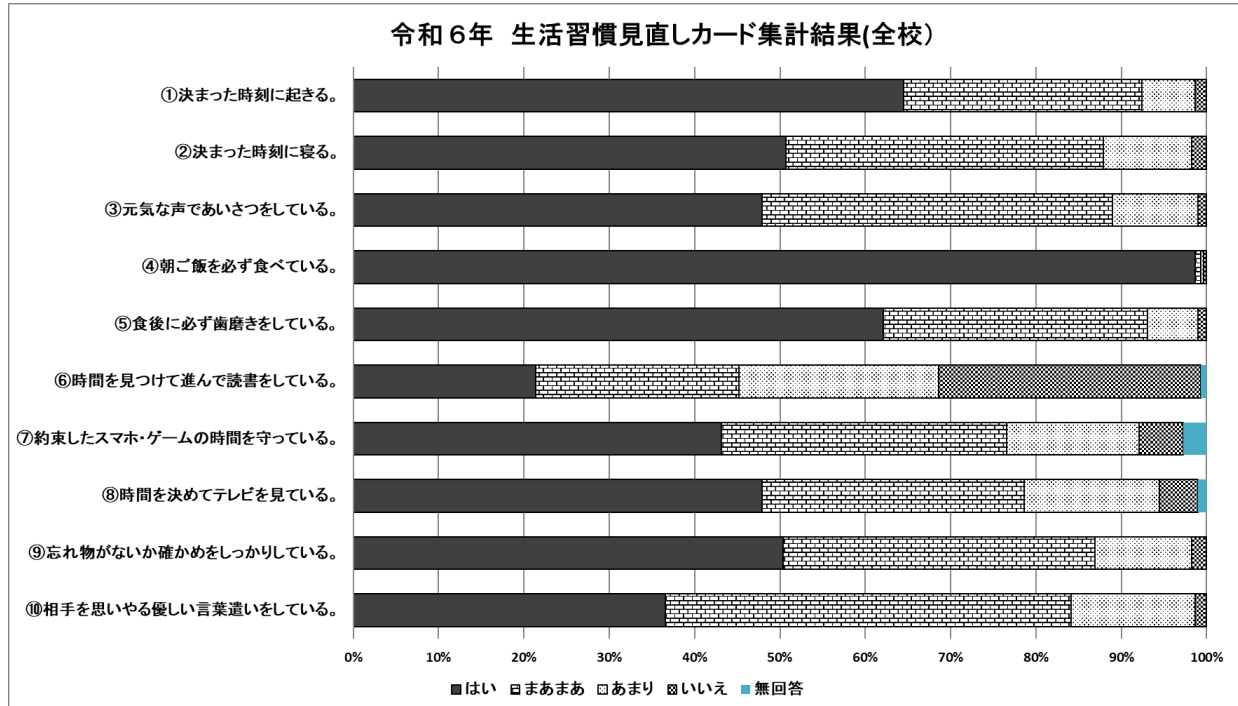
また、体験を伴う活動も重要です。5月30日(木)には5・6年生がプールでカヤック体験を行いました。今年も以前、玉津小学校におられた土方先生が講師として来て下さいました。カヤックに乗り込むときは、とても緊張していましたが、コツをつかむととても気持ちよさそうに船を進めていました。6年生は、6月4日(火)の赤野井湾でのカヤック体験に向けて、「沈する(沈没する)」経験を全員が行いました。この経験により、琵琶湖に落ちたときにはどうしたらよいかを知って恐怖心を消すためと意外とカヤックは沈まないことを体感することができました。自分の力でスイスイと進む心地よさと仲間と支え合える安心感、そして、感嘆の声や励ましの声など自尊感情を育む要素がたくさんありました。



このような行事や体験活動は、学校だけで行えるわけではありません。保護者や地域の方々の支えや手助けをいただくことで価値がさらに高まっていると実感しています。今後とも玉津の子どもたちのためによりしくお願いします。

\*基本的自尊感情は、家族や仲間との食事や遊び、会話、外出などの何気ない日常の体験で一緒に笑ったり、泣いたりするなどの感情の共有を通して少しずつ積み上げられていきます。

## 「生活習慣見直し週間」を振り返って



今年度も保護者の方のご協力のもと実施した第1回「生活習慣見直しアンケート」の結果は、上のグラフようになりました。④は昨年度に引き続き非常に高い結果となっています。多くの子どもたちが毎日しっかりと朝食をとれていることがわかります。⑥からは、読書の時間の確保が難しい実態が明らかとなりました。平日は、習い事などに忙しく、時間に追われる現代の子ども的一面が浮き彫りとなりました。⑦⑧からは、ゲームやテレビの時間を守ることの難しさがうかがえます。決めたことや約束を守ることは子どもたちが成長するために大切なことです。しかし、大人が決めて守らせるだけでは考えて行動する力にはつながりません。成長にあわせて、どのように約束したり決めたりするかが重要になってきます。子どもたちの思いや状況をきき、大人の経験を踏まえて家族でゆっくり話す時間をとっていただきたいと思います。そして、子どもたちが自分でした約束を守れるように、場合によっては見直しをするなどして支えていただきますようお願いいたします。

### ～ 保護者のみなさまのコメントを紹介します ～

#### あいさつ・言葉づかい

- ・弟に優しい言葉づかいで話している姿に感心した。(1年生)
- ・生活習慣見直し週間のおかげで、さわやかにあいさつするようになった。(1年生)
- ・弟への言葉がけがきつく、あおる言葉づかいもするので直せるように知らせていきたい。(3年生)
- ・言葉づかいを注意することが増えた。(4年生)
- ・最近はボランティアの方にあいさつをしっかりとできている。(6年生)

#### 読書・ゲーム・テレビ

- ・Youtube を見たりゲームをしたりしている時間が長いので気をつけたい。(2年生)
- ・学校の図書室で面白い本に出合ってから読むようになってきた。(3年生)
- ・ゲームの時間を決めていたが、決められた時間で終わるようにしてほしい。(2年生)
- ・バスケットのある日は、寝る時間が遅くなる。忙しい時間をぬって、読書はよくできている方。(5年生)
- ・以前よりゲームの時間が減り、机に座る時間が増えた。(6年生)

#### その他

- ・4年生になってから、持ち物など親に頼らずに自分で用意するようになった(4年生)
- ・自分でスケジュールを立て、見通しを持って過ごせている。(5年生)
- ・保護者の帰宅が遅い日でも、主体的に生活習慣を守れている姿が見られる。(6年生)

次回は、夏休み明けの9月に実施予定です。引き続きご支援・ご協力をお願いします。

【お知らせ】 学校外から依頼された募集案内等の文書は、6月から随時ネコルメールでの配信に切り替わる予定です。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。